

- ・ 出穂期は近年並みの8月3日となりました。
出穂期以降は高温で推移し、今後も高温が予報されていることから、**早めに収穫、乾燥・調製の準備**を行いましょう。
- ・ 収穫直前まで適切な水管理を実施するとともに、**籾黄化率80%からの刈取の開始、適切な乾燥・調製**により高品質な富富富に仕上げましょう。

1 収穫までの管理の徹底

- (1) 刈取りの5～7日前まで「**間断かん水**」を行い、稲体の活力維持に努めましょう。
- (2) フェーンなど高温が予想される場合は、事前に入水し、**稲の枯れ上がりやほ場内での胴割米の発生を防ぎ**ましょう。
- (3) 収穫前にはほ場を確認し、**クサネムや水稻の異茎株があれば、混入しないよう確実に抜き取り**ましょう。



異茎株 (抜き上がり)



クサネム

2 適期刈取りの励行

- (1) ほ場ごとに籾の黄化状況を必ず確認しましょう。
- (2) 籾黄化のばらつきが大きい傾向がありますが、**籾黄化率80%を目安に刈取りを開始**し、刈遅れに注意しましょう(胴割米発生防止)。
- (3) コシヒカリと同程度に黄化している場合は、「富富富」を優先して刈取りましょう。



「富富富」刈取時期の目安

出穂期	刈取始め(籾黄化率80%)
8月2日	9月9日頃
8月4日	9月12日頃

注:実際の収穫時期は、各地域で設置する「刈取適期表示」も参考にして下さい。

3 適切な乾燥・調製

- (1) 乾燥速度は毎時乾減率0.8%以下とし、胴割米の発生を防ぎましょう。
- (2) 水分が17%以下になったらこまめに手動水分計で測定し、**玄米水分14.5～15.0%に仕上げ**ましょう。
- (3) 選別は1.9mmの篩目を使用し、機種ごとの適正流量を守って整粒歩合を高めましょう。
- (4) 状況に応じて色彩選別機を活用しましょう。

秋の農作業安全運動実施中(8月20日～10月20日)

※収穫、乾燥・調製作業中も事故防止や熱中症対策を徹底しましょう。

